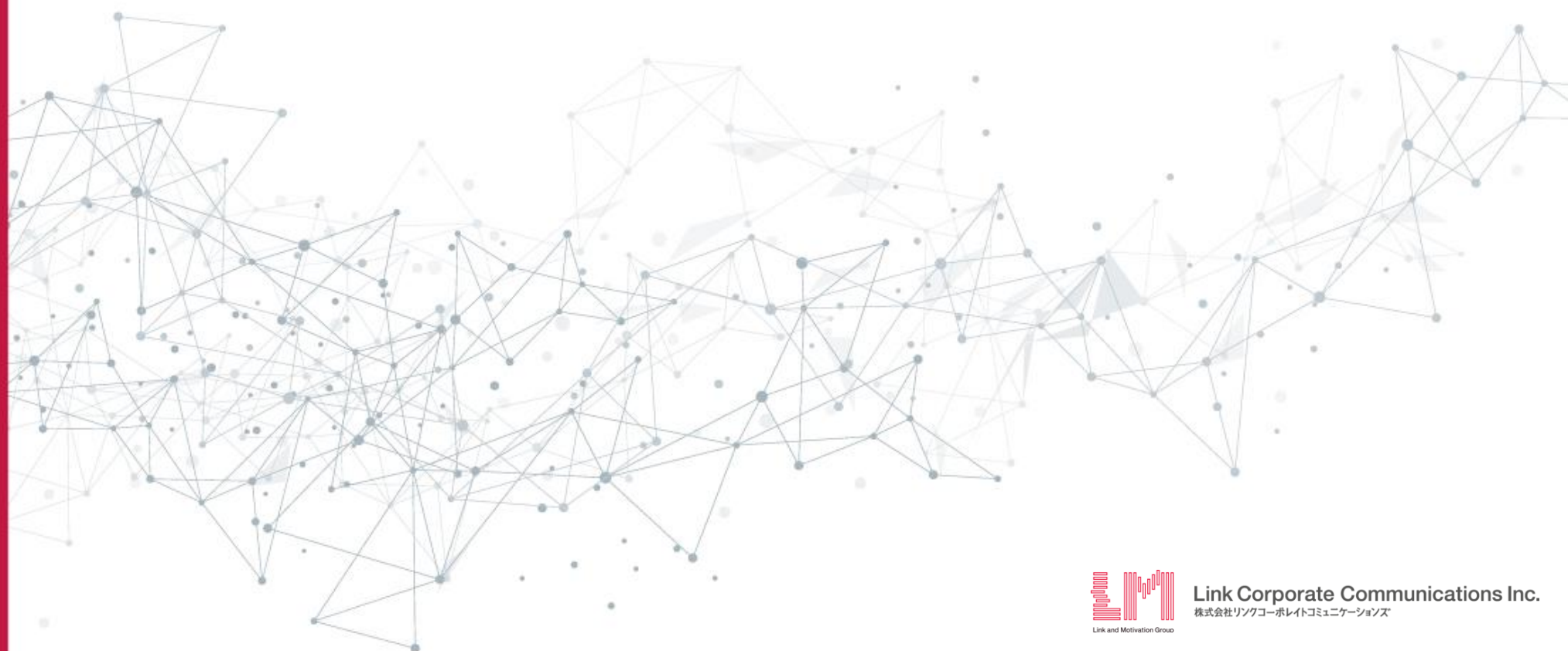


個人投資家の議決権行使に関する調査レポート

2024年12月5日



Link Corporate Communications Inc.
株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズ

Contents

01. 調査の概要

02. 調査結果

03. Appendix: 属性調査

Contents

01

調査の概要

▷ 調査概要

背景

インターネット証券会社の急成長や新NISAの導入など、個人による投資が一層注目を集めています。また、企業の株主総会における「アクティビスト」の存在感が増し、個人投資家についても、従来の「安定株主」とは異なる見方が広がっています。具体的には、会社議案の役員報酬決議や役員選任決議に関する反対票が過去最高を超えるなど、必ずしも会社側の意図とは異なる票を投じる動きが広がっています。

本調査では、当社が提供する個人投資家向けサービス「e-株主リサーチ」を通じ、個人投資家の議決権行使状況やその賛否理由、株主総会に対する要望について、調査および考察を行いました。

目的

個人投資家の議決権行使状況やその賛否理由について明らかにする

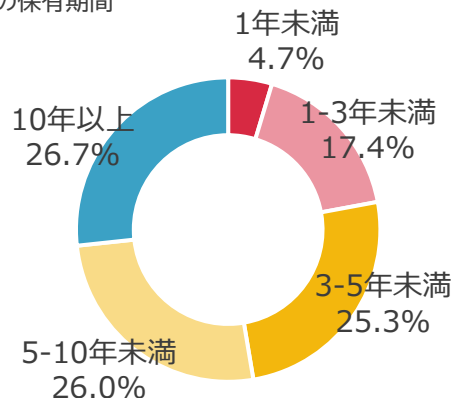
概要

- ・調査の対象 :リンクコーポレートコミュニケーションズの運営する個人投資家向け情報プラットフォーム「e-株主リサーチ」を利用する個人投資家
- ・調査実施日 :2024年8月29日～9月12日
- ・調査主体 :株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズ
- ・有効回答数 :2,169

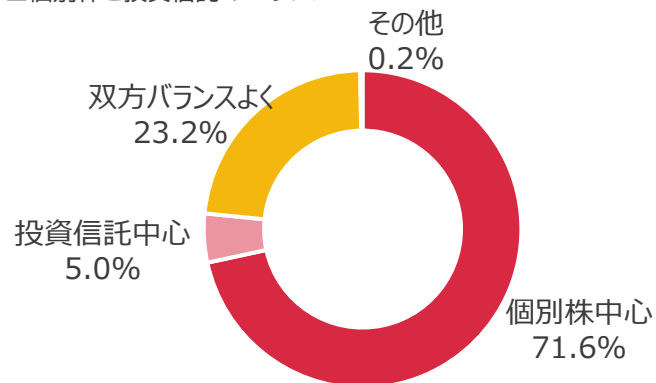
対象投資家の特徴

長期保有目的の個別銘柄投資を行う個人投資家が中心

■主な株の保有期間



■個別株と投資信託のバランス



Contents

02

調査結果

- ▷ Summary
- ▷ 議決権行使についての調査

Summary

株主提案に個人投資家の51%が賛同。最多賛成理由は「特になし」 企業側の説明・対話不足がみられ、鍵は「経営陣のリーダーシップ」

結果

「経営参画」「中長期保有」を背景に議決権を積極的に行使する個人投資家は、
会社側提案の議案には概ね「賛成」を示し、
その理由は「業績や目標への信頼感」が最多である

一方、株主側提案の議案である「株主提案」に関しては賛成が51%と賛否がわかれた。
賛成の理由は「特になし」が最多、反対の理由は「経営陣のリーダーシップへの信頼感」が最多となった。

考察

株主提案への最多賛成理由は「特になし」ということから、企業側の説明不足が伺え、
業績や株主還元への不信感がある場合は特に理由がなかったとしても株主提案に賛意を示すことがわかる。

上記から、「株主提案」に関しては必ずしも企業側に賛成をすることはできない現状が伺え、
企業側にとっての「絶対的な安定株主」とはいえない。

企業側は、特に株主提案を受けている際には個人株主にも十分な対話・説明をはかることが肝要であり、
鍵となるのは経営陣のリーダーシップを示していくことが推察される。

株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズ

<https://www.link-cc.co.jp/>

▽問い合わせ先

株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズ 広報・マーケティンググループ

Email: pr@link-cc.co.jp TEL: 03-6853-8060



Link and Motivation Group

Link Corporate Communications Inc.

株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズ

調査結果

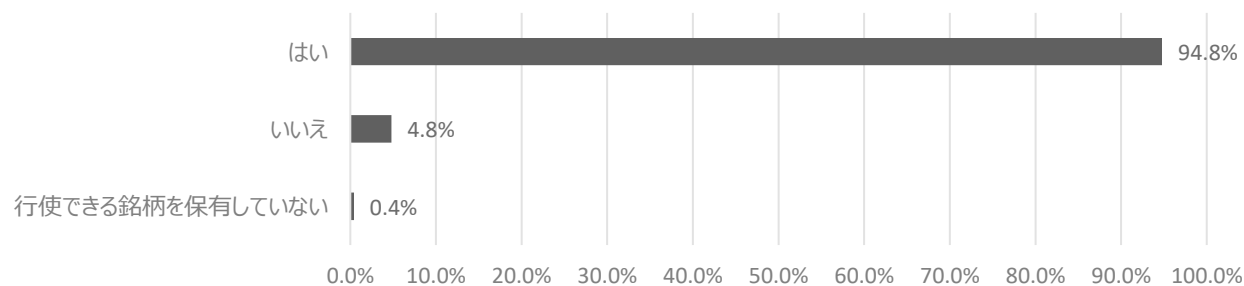
①

本調査に回答した個人投資家は「経営参画」「中長期保有」を背景に議決権行使を積極的に行使する投資家層である。

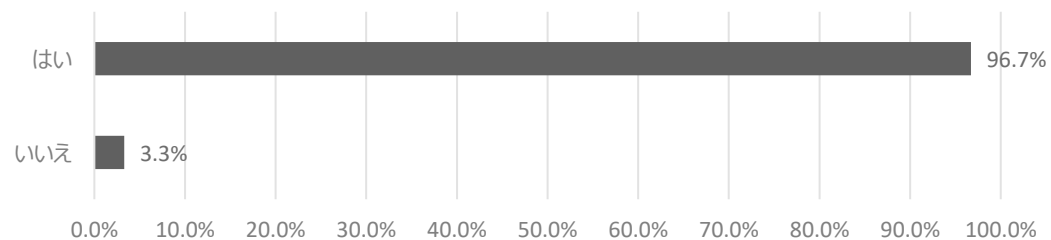
一方で、議案に関しては招集通知等で「おおまかに目を通す」が62.3%で最多となり、詳細に至るまでは確認をすることはないことがわかった。

調査結果
詳細

■1.議決権を行使したことがありますか

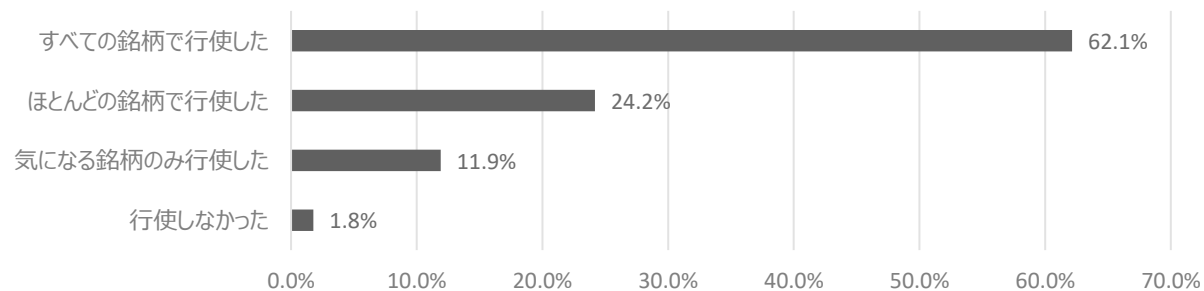


■2.(1の質問に「はい」と答えた方へ。)1年以内に、議決権行使をしましたか

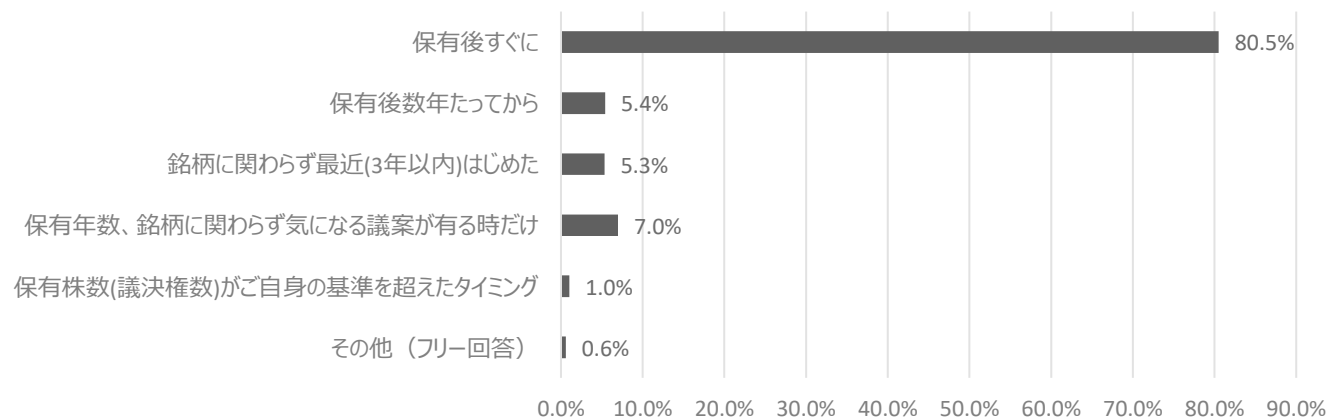


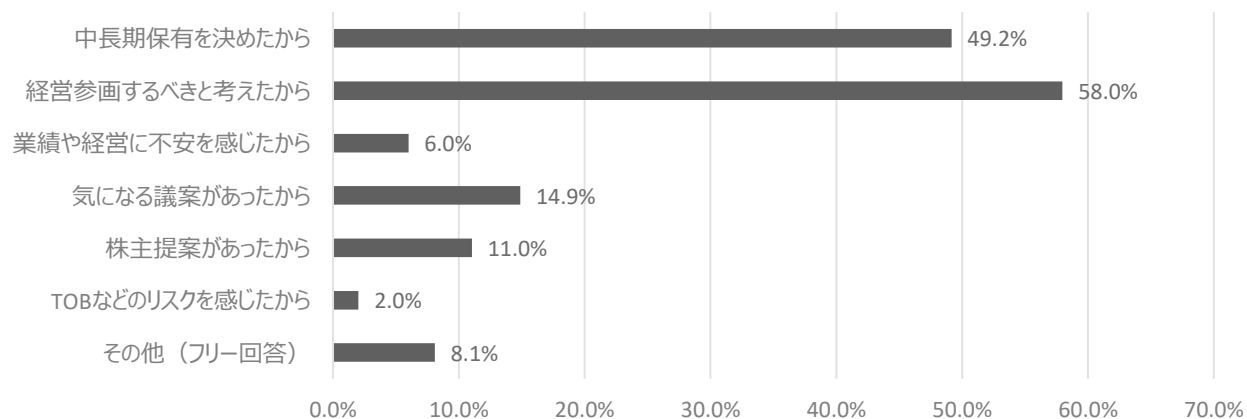
調査結果
詳細

■3. (2の質問に「はい」と答えた方へ。)お持ちの銘柄について、直近の株主総会における議決権の行使の状況をお知らせください

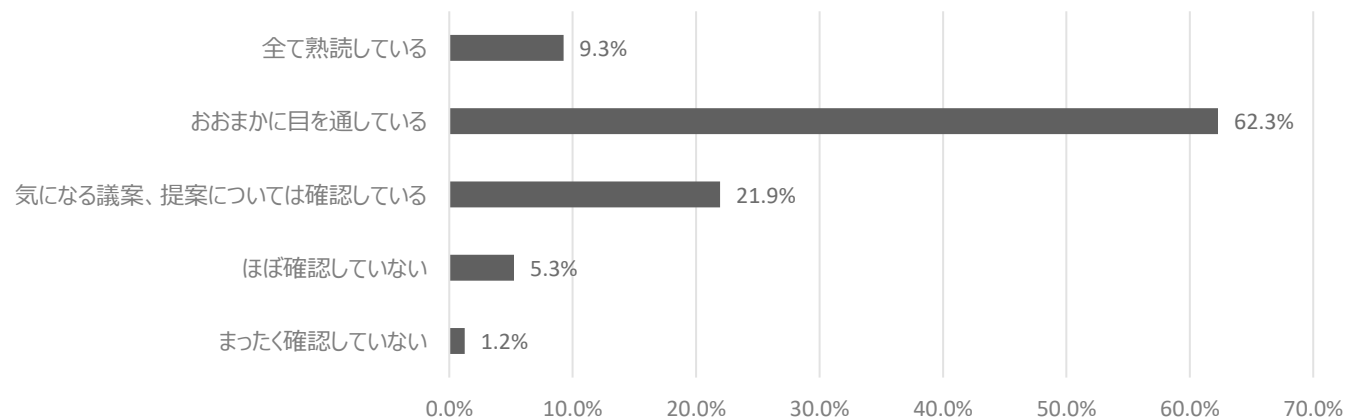


■4. (2の質問に「はい」と答えた方へ。)議決権行使はどのようなタイミングではじめましたか



調査結果
詳細■5. (2の質問に「ほとんどの銘柄で行使」「気になる銘柄のみ行使」と回答した方へ。)
議決権を行使した要因についてお聞かせください(複数回答可)

■6. 招集通知等において、議案に関してどの程度確認していますか



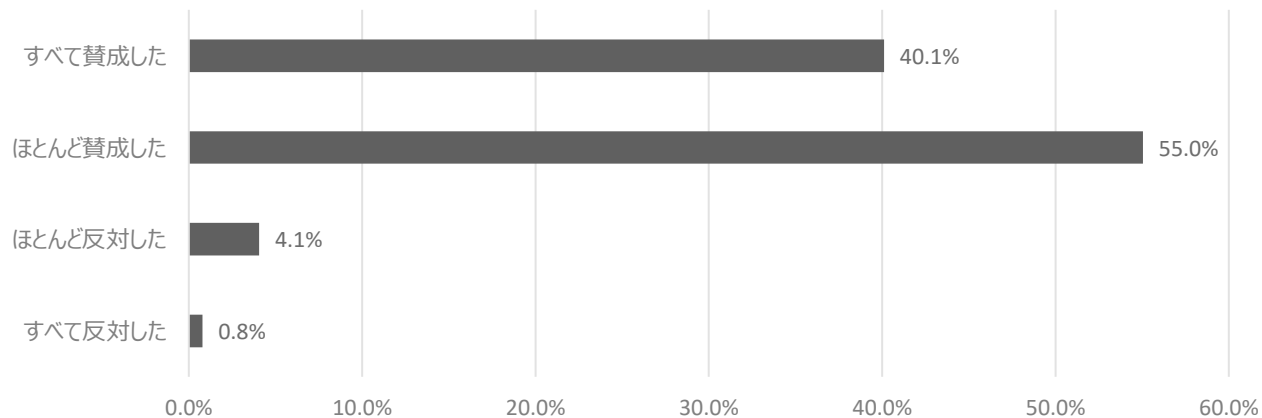
調査結果

②

会社側が提案する議案に関しては賛成多数となり、概ね安定株主であることがわかる。また、賛成理由としては「業績や目標への信頼感」(23.0%)、「株主還元重視の姿勢」(21.6%)、「経営のガバナンスへの信頼感」(16.1%)の順に多くなった。一方反対理由としては「株主還元軽視への不信感」(22.8%)「役員報酬への不信感」(17.7%)「経営陣のリーダーシップへの不信感」(16.7%)の順に多くなった。

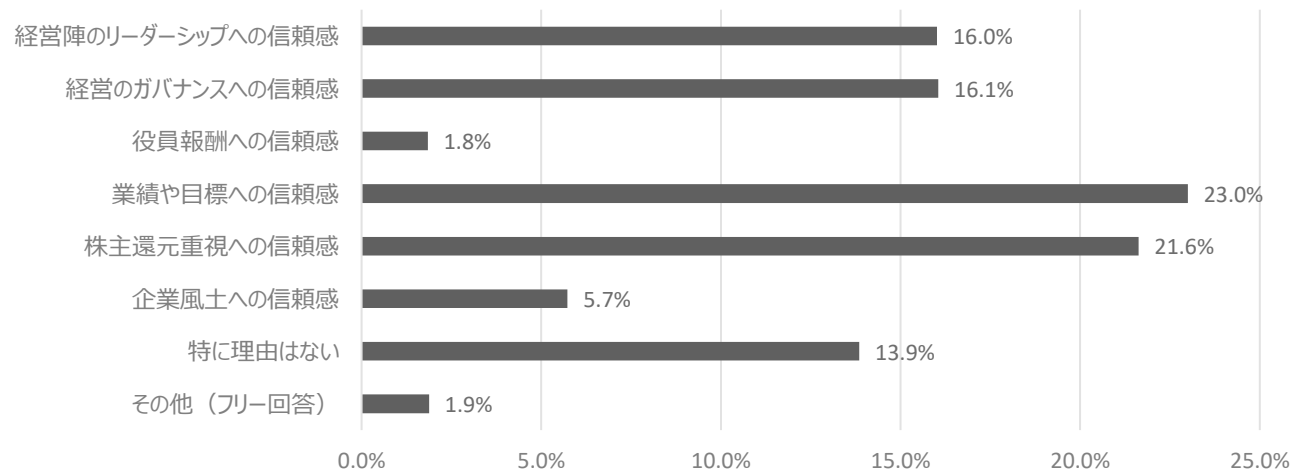
調査結果
詳細

■ 7. 1年以内に行われた株主総会で、「議案」(=会社側からの提案による議題の内容)に対して賛否の状況をお知らせください

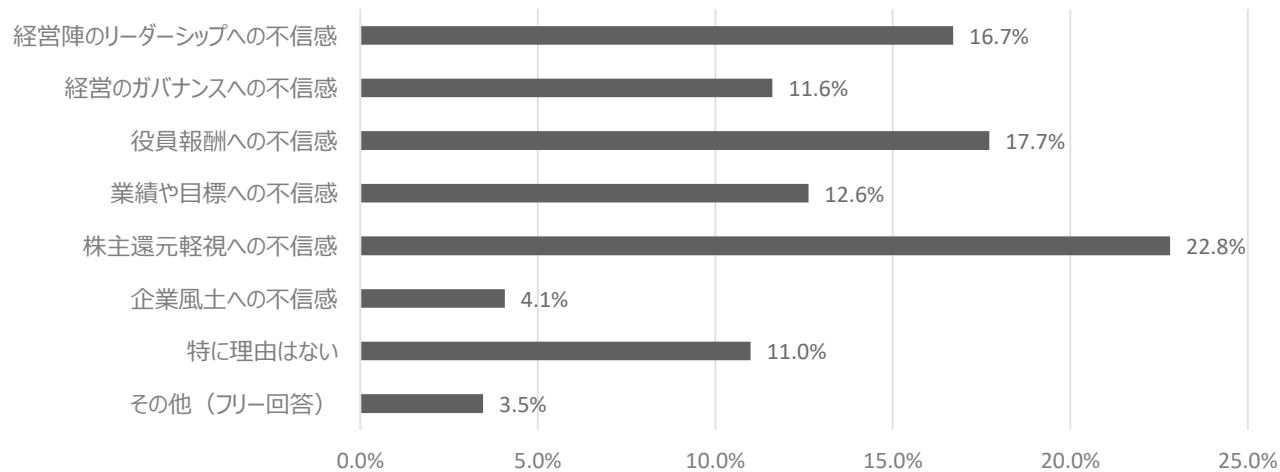


調査結果
詳細

■8. (7の質問に「すべて賛成した」「ほとんど賛成した」と回答した方へ。) 賛成をした理由は何ですか。



■9. (7の質問に「すべて反対した」「ほとんど反対した」と回答した方へ。) 反対をした理由は何ですか。

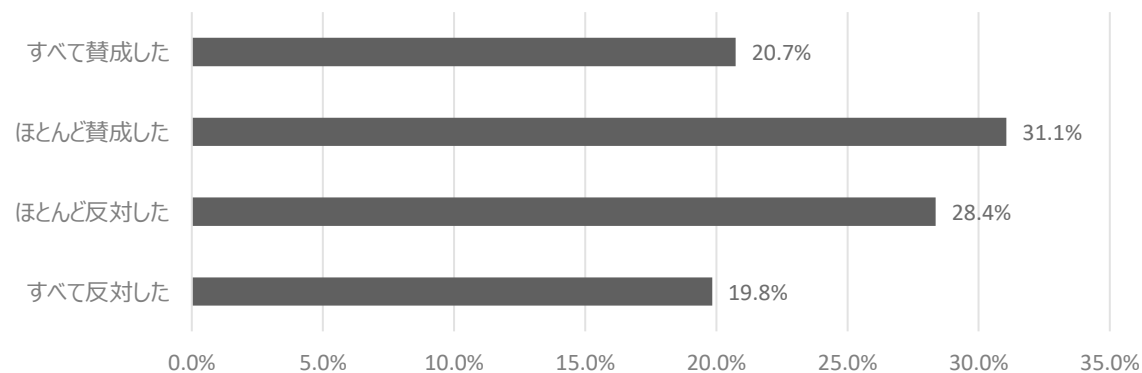


調査結果
③

株主提案については、賛成が51.8%でやや多数で、株主提案側への賛否がわかる結果となった。理由は「特にない」が多数となり、個人株主は特に理由はないものの、株主提案への賛意を示すことがあることがわかった。

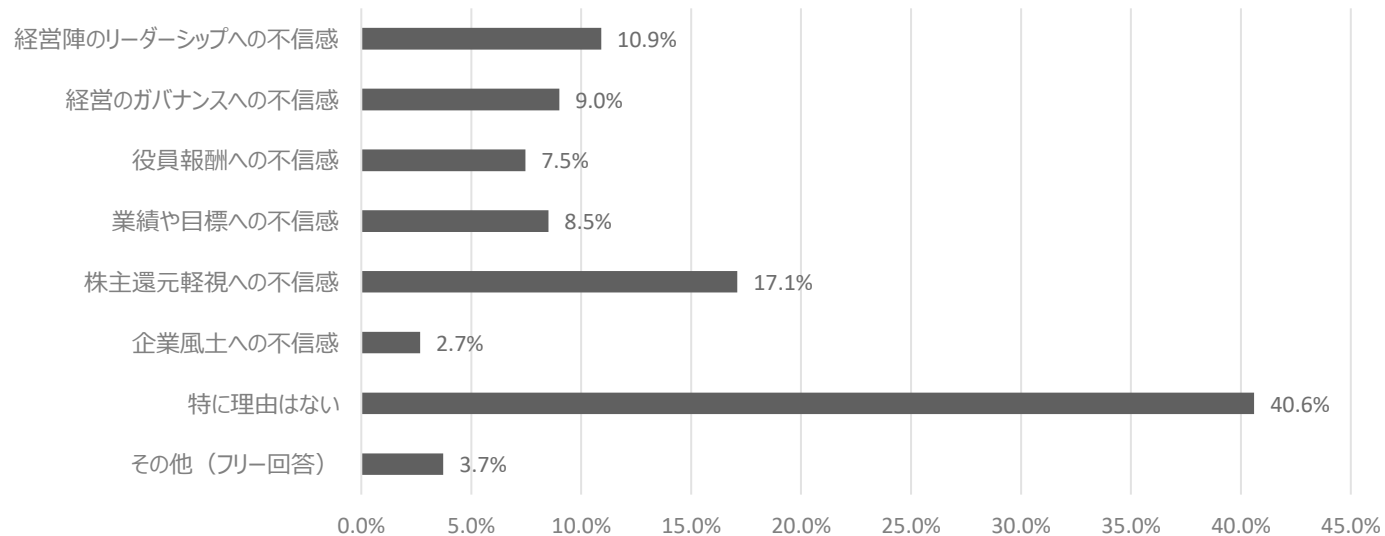
調査結果
詳細

■10. 1年以内に行われた株主総会で、株主提案(=株主側からの提案による議題の内容)に対して賛否の状況をお知らせください

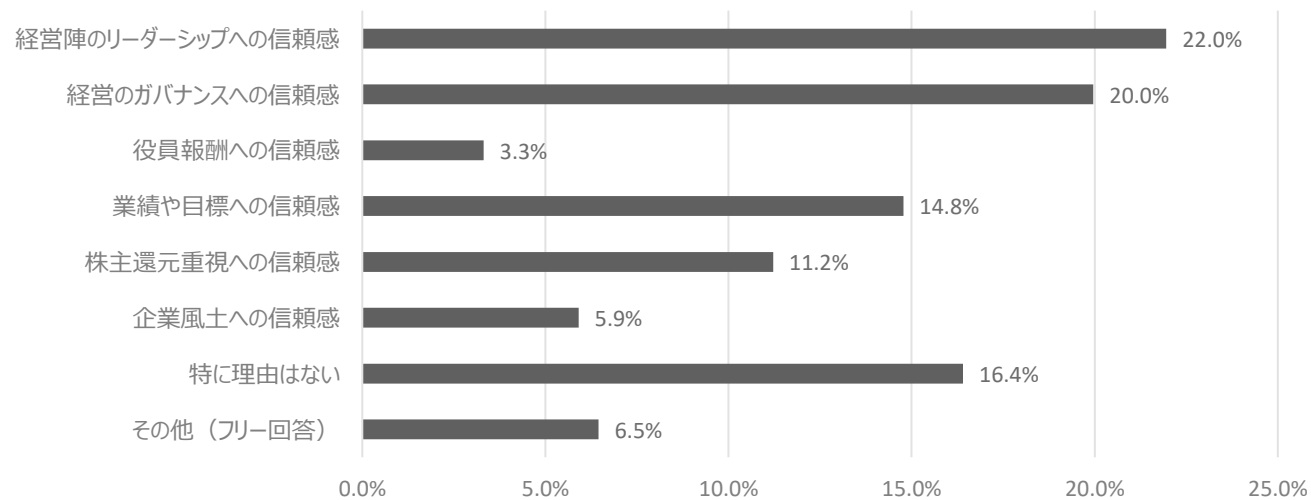


調査結果
詳細

■11. (10の質問に「すべて賛成した」「ほとんど賛成した」と回答した方へ。) 賛成をした理由は何ですか。



■12. (10の質問に「すべて反対した」「ほとんど反対した」と回答した方へ。) 反対をした理由は何ですか。



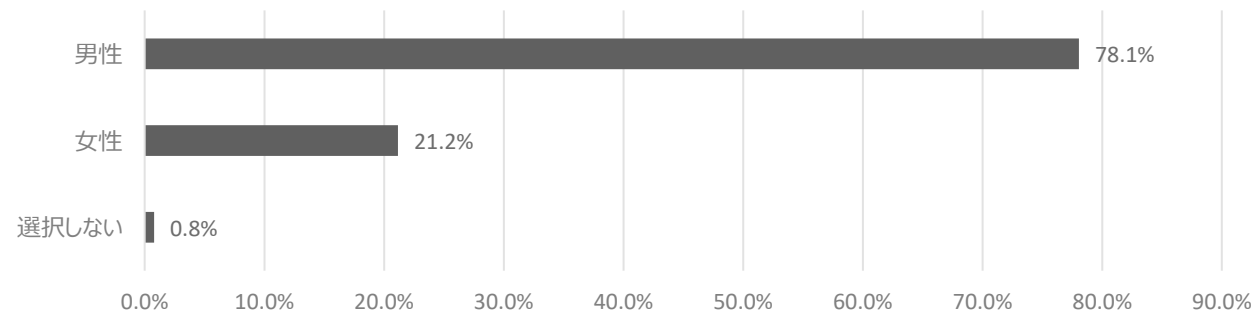
Contents

03

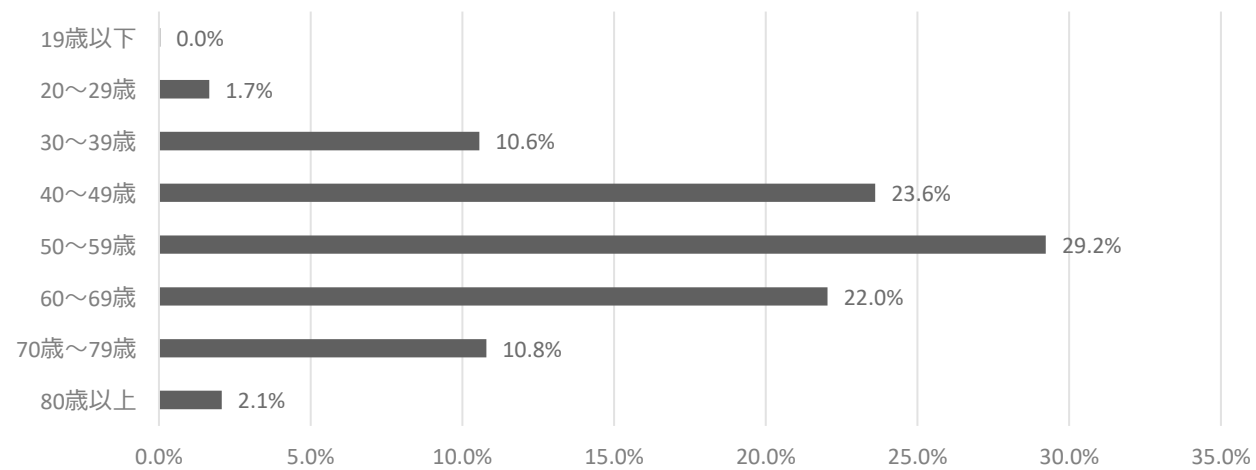
Appendix

▷ 属性調査

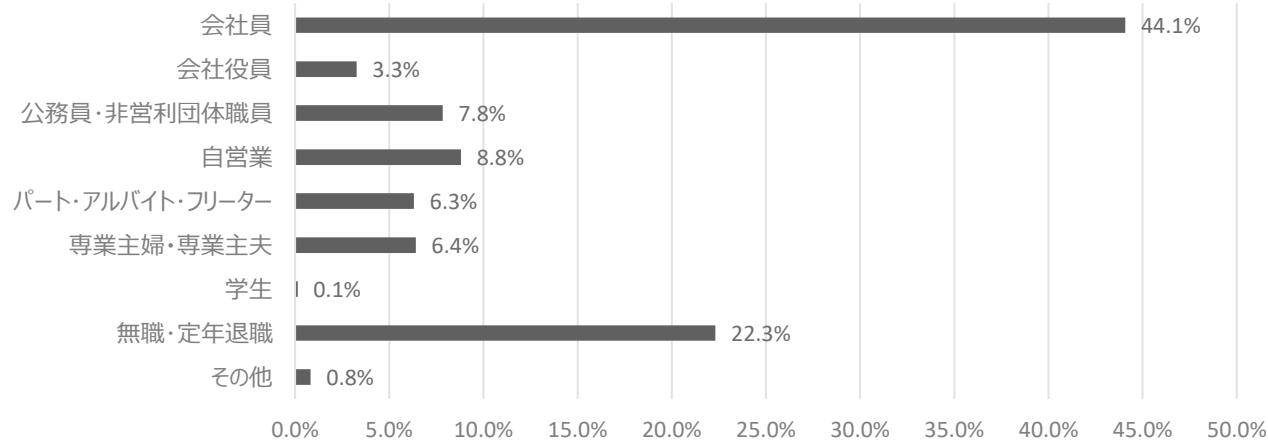
■性別



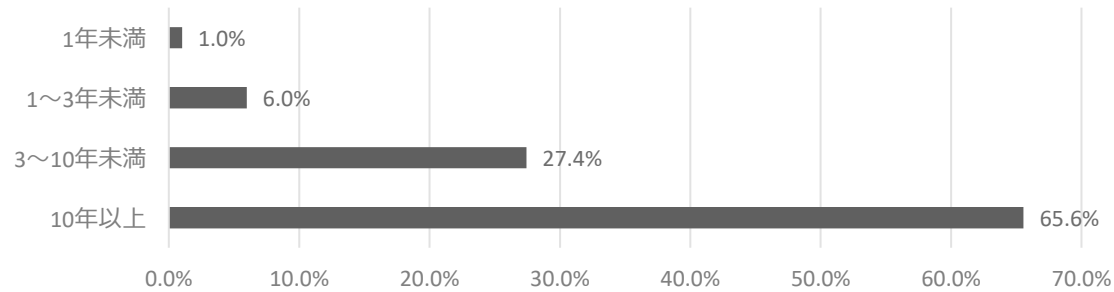
■年齢



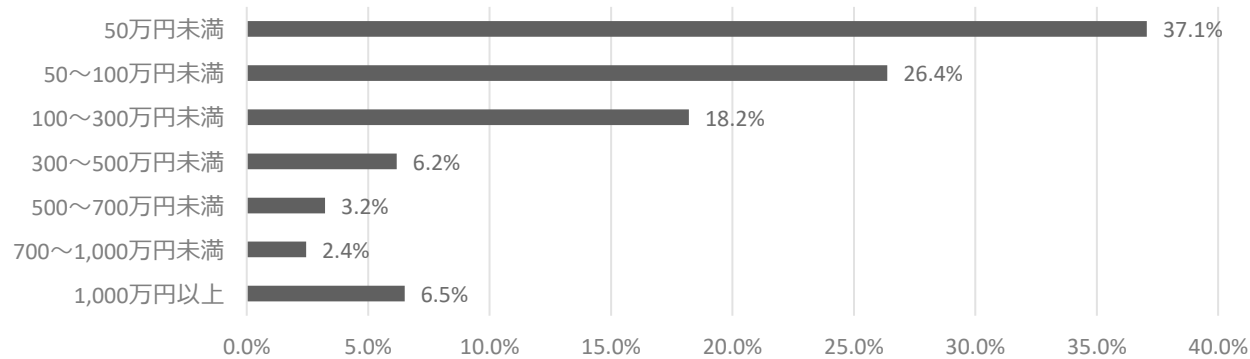
■職業



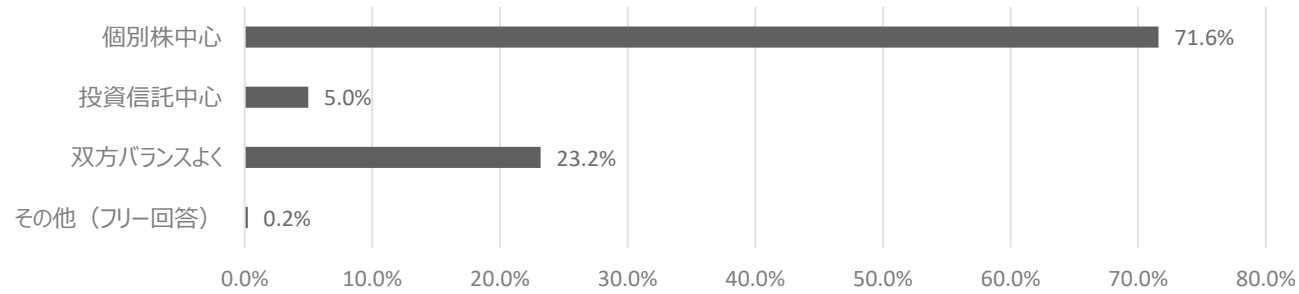
■投資歴



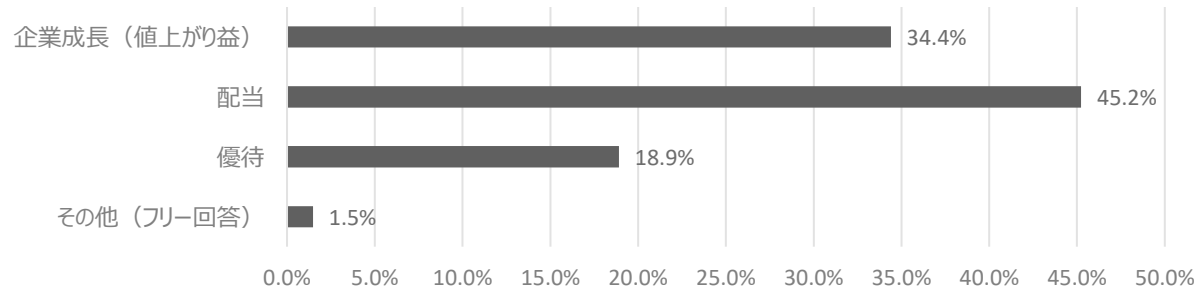
■1銘柄あたりの投資額



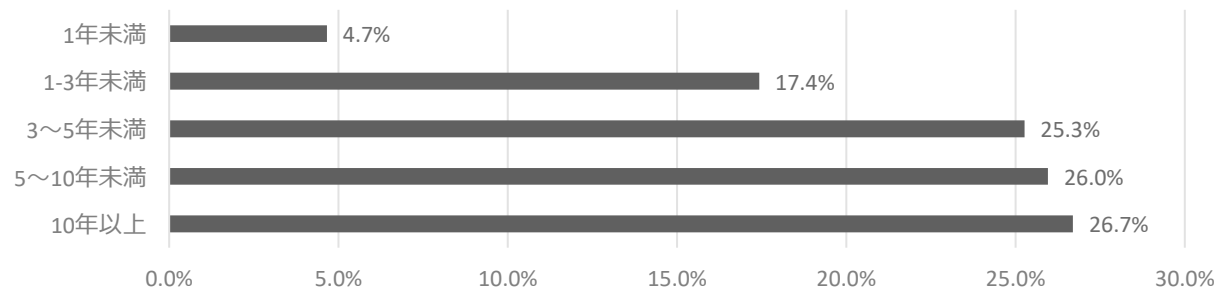
■個別株と投資信託のバランス



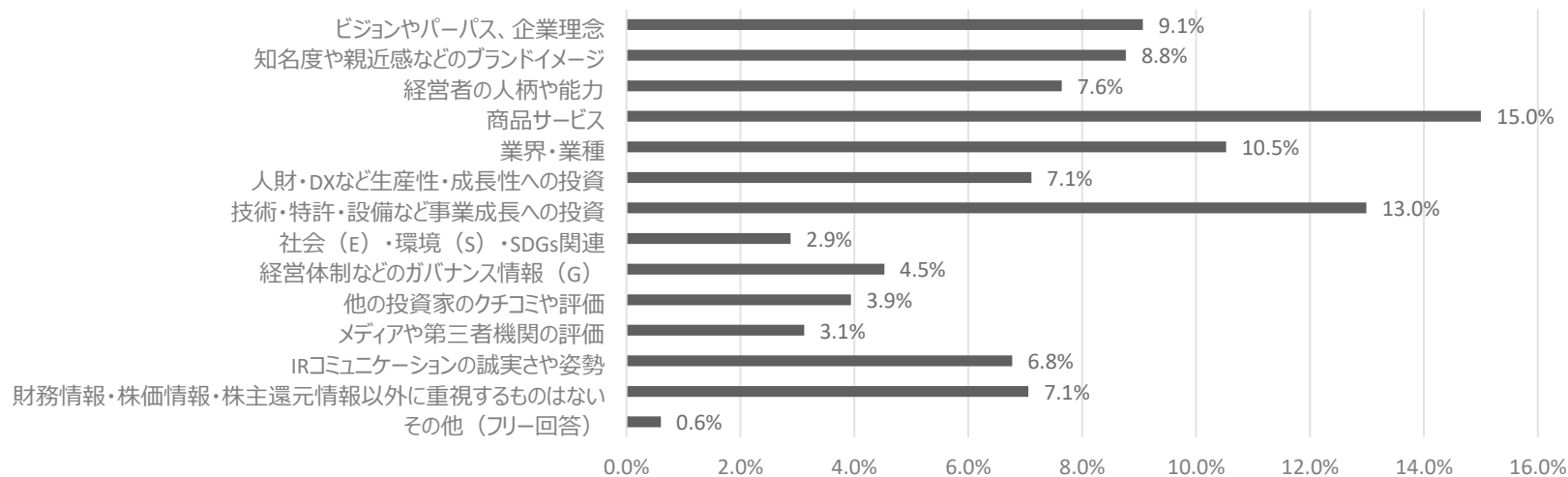
■主な投資スタンス



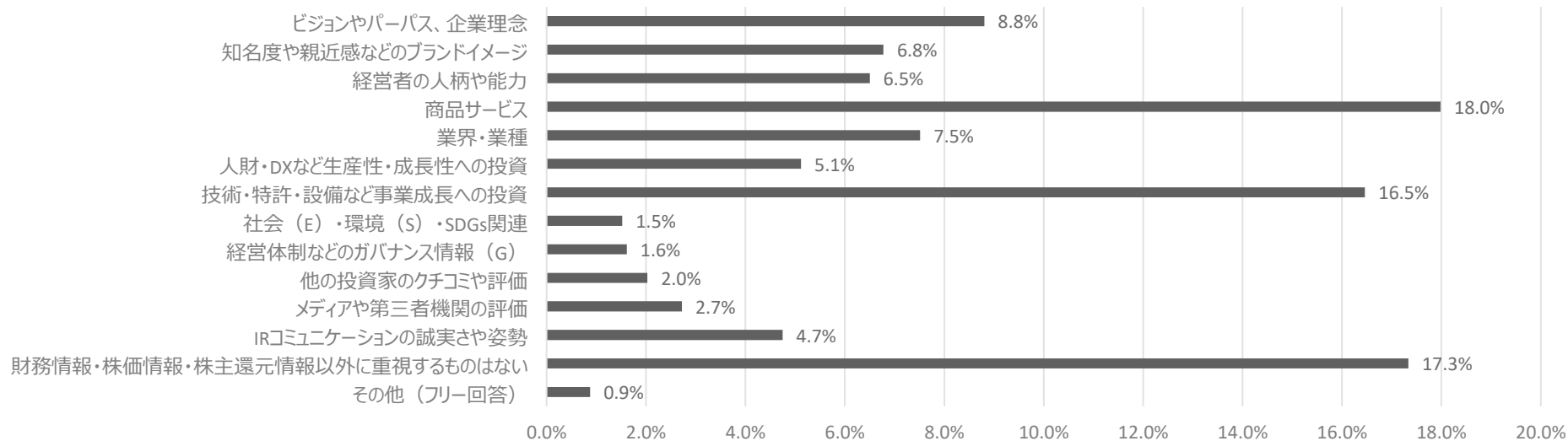
■主な株の保有期間



■財務情報・株価情報・株主還元情報以外に、個別株投資をしている銘柄に対して主に何を期待しますか(複数選択可)



■そのうち、最も優先順位の高い物は何ですか



■一方、投資判断に重要視したいものの、現状は不足している情報だと思うのは何ですか。

